

3
19
THU

キンキサイン(株)と企業立地に関する協定を締結



▲協定書に署名するキンキサイン株式会社山口祖廣社長（右から3人目）と藤井町長



▲契約書・協定書を交わしたキンキサイン株式会社山口祖廣社長（右から3人目）と安田法爾理事長（左から3人目）と藤井町長

町は、西座倉土地区画整理事業用地への進出を決められたキンキサイン株式会社と、工場の立地にあたり、相互に協力し、その円滑な推進を図ることを目的とした協定の締結を行いました。

キンキサイン株式会社は、兵庫県姫路市に本社を構え、清涼飲料水の製造・販売を行っており、新工場は令和11年以降の操業が予定されています。中京圏で初の工場となります。

調印式においてキンキサイン株式会社の山口祖廣社長は、「神戸町の良質で豊富な地下水と東海環状自動車道による交通の利便性を魅力に感じており、これから更なる事業展開を図っていきたい」と述べられました。町長は、「今後も、産業・観光などあらゆる分野の活性を目指し、まちづくりを進めていきたい」と歓迎のあいさつを述べました。

2/17 TUE 中学生がフレイルチェックを体験



神戸中学校3年生が、町フレイルサポーターを講師に、加齢により生活機能や認知機能が低下した状態「フレイル」について学びました。

生徒はフレイルについての説明を聞いた後、各地区で高齢者向けに行われているフレイルチェック（加齢に伴う機能の低下度合いを確認するテスト）を体験しました。

2/20 FRI ふるさとごうど子どもサミット



町内幼児園および小中学校の児童生徒が、今年度のふるさと学習の取り組みについて交流する「ふるさとごうど 子どもサミット」が開催されました。

今年度からオンラインでの開催になったことで、各学校、代表学年全体で参加することが可能になりました。

動画や写真、壁新聞など、様々な資料を用いて堂々と、学習の成果を発表しました。

まちづくりの今をお届けします

まちのわだい

更新中！
ぜひ
ご覧ください



Facebook



Instagram

2/21 SAT

バドミントンの技 プロ選手が直接指導



◀指導を行う岩戸和音選手
(写真左)と末綱聡子コーチ
(写真右)

神戸ジュニアバドミントンクラブ主催の「岐阜 Bluvic*バドミントン講習会」が開催されました。

同クラブのクラブ員37名が参加し、岩戸和音選手や元オリンピック選手の末綱聡子コーチからシャトルの打ち方や攻め方のコツなどについて指導を受けました。

※岐阜県に本拠地を置くバドミントンのプロチーム

2/11 WED

プロ棋士を相手に 果敢に挑戦



神戸こども将棋教室の「プロ棋士指導対局会」が開催されました。

同教室に通う幼児園児から中学生まで29人が参加し、棋士のまち兵庫県加古川市出身の若手のホープ、横山友紀四段と対局しました。

横山四段は「新しい戦略を考えるなど、これからも楽しみながら将棋に打ち込んでほしい」と話されました。

河川監視カメラを設置



町は台風や豪雨などによる河川の増水・氾濫に迅速に対応するため、東平野井川（起区）、菅野川（和泉区）、奥川（新西保区）、平野井川（新瀬古区）に「河川監視カメラ」を設置しました。

河川監視カメラを設置したことで、町内を流れる川の状況をリアルタイムで確認できるようになりました。

また、災害発生時にも、安全かつ正確に川の状況を確認することができ、適切な避難情報の発令につながる効果が期待されます。

この他に岐阜県が平野井川（柳瀬区）に設置しています。

2/17~24 TUE TUE

家族で防災を 考えるきっかけに



神戸小学校PTA子育て委員会主催の防災教室「防災のじかん」が行われました。

防災紙芝居の読み聞かせや避難所グッズの紹介、携帯簡易トイレの使い方の説明が行われ、児童らは、災害時の備えや身を守る行動について理解を深めました。